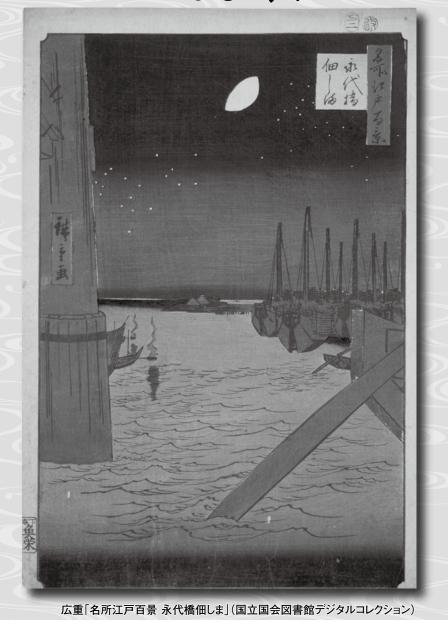
江戸の猟師町を探る

深川猟師町って どんな町?



師町、

大井御林猟師町

区 区

羽 猟

に芝金杉町、

本芝町

(港区)、

Ш

そのほかにも、

隅田川の西側を南

江戸に下向し、のち佃島に居住しまし30数名の人々が、家康との関わりから

郡佃村(大阪府西淀川区佃)を中心に

期(1596~1615)など、

くつかの説がありますが、

摂津国

||西成

河口部に成立しました。

が存在しました。そして、隅田川

0)

東

深川猟師町(江東区)

がそ

0)

田猟師町(大田区)と、

多くの (品川

猟

KOTO City In TOKYO スポーツと人情が熱いまち 江東区

NO.

江東区地域振興部 文化観光課文化財係 〒135-8383

江東区東陽4-11-28 TEL(03)3647-9819 http://www.city.koto.

ℓg.jp/

- ○江戸の猟師町を探る 深川猟師町ってどんな町?
- ○古写真の中の江東 霊巖寺の江戸六地蔵
- 〇深川江戸資料館 企画展 「歌舞伎と深川」
- ○平成28年度芭蕉記念館後期企画展 「其角と江戸俳壇」
- ○区外史料調査報告 幕末明治の技術者 小野友五郎
- ○古写真整理プロジェクト これまでの活動と成果

あるいは少し遅れて慶長

ページで詳しく解説いたします。 どのような町だったのでしょうか。 の漁業に対する権利は強固なものとな たと考えられています。 で食される魚貝類の上納も行って 船を使用した様々な活動に従事しまし した。それらのことを根拠に、猟師 人々が多く居住し、 深川にあった猟師町とは、 広域的な漁業権の保証につなが 幕府の御用にも関わり、 般的に猟師町は、 海と関わり 漁業をはじめ、 江戸城-・った

いま

江戸の猟師

島(中央区)が思い浮かびます。

江戸で有名な猟師町といえば、

入府の時期については、家康と共に

次

1、いつ成立したのか

された由緒書から見てみましょう。 る時代です。猟師町について、『寛永 代将軍秀忠も大御所として存命してい 代徳川家光ですが、 年目ということになります。将軍は3 開かれた慶長8年 に成立しました。これは、 深川猟師町は、寛永6年 壱』(東京都公文書館蔵)に掲載 将軍職を譲った2 (1603) 江戸幕府が (1 6 2 9 から26

名前をもって相唱、御菜御肴三拾六 兵衛·理左衛門·彦左衛門·助右衛門· 猟師町の義は、 度ツ、差上げ ※読み下し文 (以下同じ) 3漁師町と惣名相唱、 上在らせられ、町場新開いたし候処 助十郎・弥兵衛八人の者、半十郎様 の外干潟の処、 仰せあげられ候処 願い奉り、 1治郎兵衛・藤右衛門・ 2 雅楽頭様・大炊頭様 寛永六年巳年汐除堤 町場に取り立て申し 小訳町名自分 台徳院様え言

基礎を作り上げた人々であることは間 明確ではありませんが、深川猟師町の 弥兵衛の8人います と代官の伊奈半十郎に願い上げた人 そのなかで、町場に取り立ててほしい のような人物であったのかについては 理左衛門、彦左衛門、助右衛門、助十郎、 史料には、多くの人名が登場します。 (次) 郎兵衛、藤右衛門、新兵衛、 (1)。彼らがど

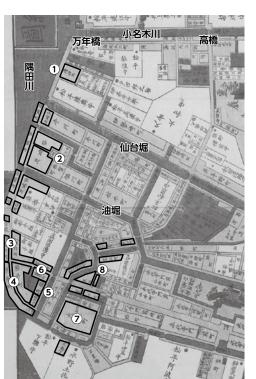
> 炊頭利勝、台徳院は大御所秀忠のこと頭は酒井雅楽頭忠世、大炊頭は土井大覧は酒井雅楽頭忠世、大炊頭は土井大い。を付けました。ちなみに、②雅楽町)を付けました。ちなみに、②雅楽町名は自分の名前(たとえば新兵衛 えられたとあります。 ら幕閣の酒井・土井を通して秀忠に伝 東側に8つの町場を切り開き、惣名(総 の許可を受けたのち、 を指します。8人の嘆願は、半十郎か 違いないと思われます。彼らは、 を「漁師町」と唱え、それぞれ小 隅田川河口部の 幕府

2、猟師町を造った人々

れた由緒書の記述を見てみましょう。 次に『寛永録 台徳院様御代猟師町起立の儀、猟師 弐』(同前) に掲載さ

主で、幕府老中から大老へと上り詰め の屋敷に居ました。 た人物です。開発前の8人は、その人 楽頭忠世は、上野国 屋敷に居たと記されています。 史料には、8人の猟師が雅楽頭の浜 ども酒井雅楽頭様浜御屋敷差置れ (群馬県) 前橋藩 酒井雅

敷が当時の酒井家にとってどのような 忠世との関わりの程度、さらには浜屋 あったことは間違いありません。ただ に関する疑問は、残念ながら由緒書の 存在であったのかなど、8人と酒井家 酒井家と何らかの関わりをもつ人々で この記述から、8人は幕府の有力者 酒井家に居住していた背景や当主



きません。 記述だけではとても解決することはで

3、変わる猟師町

か確認しておきます。 ここで、猟師町がどの辺に成立した

と考えられます。

川町、 町名も元禄8年 ⑤彦左衛門町→諸町、 藤左衛門町→佐賀町、 ①弥兵衛町→清住町、 変更されました(右図参照)。北から 永代付近)。しかし、町場として発展 がっていました(清澄・佐賀・福住 左端の隅田川に沿って北から南に広 たこの絵図のうちで、 分)です。町の様子をわかり易く描い 戸切絵図のうち、「本所深川絵図」 したため、成立当初とは大きく異なり、 右の絵図は、幕末期に作成された江 ④ 利 (理) 左衛門町→熊井町 (1695) 頃を境に 猟師町八ケ町は ③新兵衛町→相 ⑥助十郎町→富 ②次郎兵衛町

> 」が当時の猟師町 吉町、 ②佐賀町の2 門町→黒江町 ケ町がそれぞ らではなく、 は成立当初か です。このう ⑧助右衛 ⑦大島町 ⑦大島

町総称の枠組として幕府に公認された た。また、町名の変更とほぼ時を同じ くして、それまで地域的な総称であっ たと考えられる猟師町の呼称も、八ケ 嘉永5年(1852)「本所深川絵図」(部分) 成していまし れ八ケ町を構

ます。 あり、 たことが考えられます。 地帳」(元禄10年、1697)を見る そうではありません。江戸時代の絵図 に従事していたのでしょうか。答えは、 (延宝9年、1681)や土地台帳の「検 ところで、猟師町の人々は漁業だけ 猟師町の各町に河岸地が確認でき 船を使った流通にも従事してい 河岸地は荷の積み下ろしの場で

楽しみに。 ころで、今回は終わります。この続き 次号に掲載する予定ですので、お 流通との関わりを指摘したと

(文化財主任専門員 出口宏幸

古写真の中の江東

この地蔵菩薩坐像の鋳造方法は、

本

大吃花

霊巖寺の江戸六地蔵

町並みやそこで暮らす人々だけではな 天災、 3 く、文化財にも多くの被害を与えまし 近代の江東区は、大正12年(192 関東大震災をはじめとする多くの 戦災にあいましたが、それらは

坐像(江戸六地蔵の一 東京都指定文 をできる。 白河1)にある銅造地蔵菩薩 霊巌寺(白河1)にある銅造地蔵菩薩 かいがんじ 今回は昭和30年前後に撮影された 化財) 介します。 が受けた戦災の被害と戦後の修復を紹 の写真 (①) を取り上げ、本像



①昭和30年前後の霊巌寺の銅造地蔵菩薩坐像

江戸六地蔵の建立

た。 駿河守藤原正儀により鋳造されましまるがのが東京がある。ままである。ままりの鋳物師太田田鍛冶町2・3丁目)の鋳物師太田 の発願により神田鍋町(現千代田区神17)四月に地蔵坊正元という僧侶を考しまらげん 2年(17) 一個に地蔵は、享にという僧侶霊巖寺の地蔵像は、享らぼら の鋳物師太田(現千代田区神

> 代徳川家宣)などの将軍、は 常憲院(5代徳川綱吉)・文昭院(じょうけんいん とくがわつなよし ぶんしょういん れており、約1万人の名前が結縁者と 個 体は薄手に鋳造した16個の部材を接 れています。 吉の生母)などの身分の高い者も含ま して陰刻されています。 合 の部材を組み合わせています。ま して組み合わせ、台座も同様に6 像の背面・台座正面には銘が記さ その中には、 網網 6

時代に建立された京都の六地蔵になら 国六地蔵造立之意趣』で正元は、平安 り六ヶ所に地蔵が建立されました。『当 蔵像を建立したと記しています。霊巖 この霊巖寺の地蔵を含め、 江戸をつなぐ街道筋の六ヶ所に地 正元によ

> ②『江戸名所図会』に描か れた永代寺の地蔵像

す。 と永代寺(富岡1―14 江東区内には今回紹介する霊巖寺 外に建立された寺院は表の通りで 深川公園付近

エロのた地域一覧

シンティ	13.170プ対蔵	臣		※目に現在せず
順番	寺院	現在地	造立年	街道
第 1 番	品 ぱんせん じ	品川区南品川	(17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 1	東海 海道 道
第 2 番	東禅んじ	台東区東浅草	宝永7 1 1 1 1 1 1	日 だっこうかいどう
第 3 番	太宗 宗寺 じ	新宿区新宿	正。 1 7 2 1 2 2 2	甲州省 道
第 4 番	真性寺	豊島区巣鴨	〔 1 徳 1 4 4〕	中山道
第 5 番	霊巌寺	江東区白河	(1 7 1 2 7 (1 7	水 戸 街 道 道
第 6 番	永代寺 ※	江東区富岡	(1 7 7 2 5 0 0	(明治以降千葉街道) (明治以降千葉街道)

※印は現存せず にあった寺)にあり、

和 53

年頃

された昭 堂が再建

も描かれています。 りました。 人が参詣するようにな 戸六地蔵には、多くの 江戸名所図会(②) 各所に建立された江

中には、天災や戦災の影響を受け破損や

現在、私たちが目にしている文化財

修復を経ているものも多くあります。

参照)

おわりに

です。(③

2 天災・戦災の被害 と修復

たちの努力や協力により支えられている

また、文化財の維持・修復が多くの人

ことを知っていただければ幸いです。

大橋俊雄『霊巖寺史』

(霊巖寺

すがお気づきですか。 在とは違う所がありま さて写真①には、 現

> す。 ました。その後昭和11年 まま残されていることを示していま 20年3月の空襲により本堂は再び焼失 に堂宇などは再建されましたが、昭和 12年の関東大震災では、本堂が焼失し 代以来、度々火災にあっており、 巖寺の地蔵像ですが、霊巖寺は江戸時 ①の写真は、戦災の影響が戦後もその れましたが、笠など一部を失いました。 しました。その際、 六地蔵の一つとして信仰を集めた霊 地蔵像は焼失を免 (1936) (1936)

霊巖寺 れたのは 現在のような笠を被る形へ 本 修復さ

③笠が修復された現在の霊巌寺銅造地 蔵菩薩坐像の頭部 2016年11月撮影

(文化財専門員

深川江戸資料館 企画展

歌舞伎と深川

会期 11月15日(火)~ 平成29年11月12日(日)—

川團十郎や四世鶴屋南北をはじめとし 俗が生き生きと描かれています。 の中には、深川独特の情緒と風景、 様々な歌舞伎の舞台となりました。そ た多くの役者や狂言作者が住み、また 深川 は歌舞伎ゆかりの地です。 風 市

川」を紹介します。 技などの様々な視点から 跡、さらに現在も区内に伝わる職人の た深川ゆかりの役者、狂言に関わる史 歌舞伎の形成などの歌舞伎の流れ、 今回の展示では歌舞伎の歴史、江 「歌舞伎と深 ま

歌舞伎の誕生

場で踊ったことがはじまりと言われま 児「かぶき者」の姿をして、京の盛り の流れを汲み、またそれまで芸能は公 古代から中世までの様々な芸能の要素 時代が終焉し、平和な時代に現れた異端 社の巫女といわれる出雲の阿国が、戦国 家や武家の支配者層中心の物でしたが の特性が字に表れています。 幕府の開府と共に誕生しました。出雲大 歌舞伎は慶長8年 (1603)、江戸 「歌舞伎」は 「技」(技芸・演劇)という歌舞伎 「歌」(音楽) 歌舞伎は 「舞」(舞

> 広く庶民の暮らしの中に浸透しました。 歌舞伎は江戸庶民が育んだ文化として

2. 江戸歌舞伎の形成

歌舞伎はより演劇性の高い芸能として 作者の誕生や、舞台の革新などから、 歌舞伎の大きな特色です。さらに狂言 「現人神」を演じる「荒事」は、江戸をいるができます。と言われた市川團十郎が戸の守護神」と言われた市川團十郎が 特の文化を生み出しました。また、「江 舞伎は日常的な空間と切り離され、独 を舞台に、 江戸三座(中村座・市村座・森田座 特権的な「大芝居」となったことです。 歌舞伎が幕府の統制の中で官許による 発展していきます。 1688~1704) に江戸歌舞伎 特色が萌芽しました。その一つが 町人の経済力の発展に伴い、 常設の興行の場を持った歌 元禄期

3 深川ゆかりの役者たち

4

歌舞伎の舞台

〜深川を描いた狂言作者たち〜

四方追放の重罪に処せられました。

弥をはじめとする多くの狂言作者たち

深川情緒やそこに生きる人々の姿

並木五瓶、

四世鶴屋南北、

河竹黙阿

幡宮の別当寺であった永代寺で成田 ための原動力となりました。富岡八 寺での成田山出開帳で取り持ち役 郎は特に成田山信仰に厚く、 11 Ш 話役)を勤め、多くの人々を呼び込む て開発された深川の発展期に当たりま (1703) です。 回行われましたが、 出開帳がはじまったのは元禄16年 「成田屋」の屋号を持つ代々の團十 成田山の江戸出開帳は、江戸時代 江戸の新開地とし その内10 深川永代 回は永

> 代寺で行われ、境内には多くの奉納物 が積まれました。

慕われ、「木場の親玉」と呼ばれました。 場2-11-13付近)、 の造作も奢侈の対象とされ、 七代目は天保の改革時に、木場の自宅 勉強会を作り、 また團十郎は深川に住み 面倒見が良く弟子から 四代目は役者の (現在の 江戸十里

庶民たちの日常語であった江戸言葉を

下層社会の人々の生きる姿をリ

に住み、没した狂言作者です。当時の

特に四世南北は深川の黒船稲荷境内

洲崎、寺町などが舞台となっています。 を描きました。主に、富岡八幡宮、木場、



図版①: [出開帳記録]

文化3年(1806)成田山霊光館蔵 出開帳前に、永代寺門前や永

図版③:「東海道四谷怪談」 -場面(豊原国周画) 明治17年(1884)江戸東京博物館蔵

た生世話物アルに描い を確立しま した。その

最高傑作と (1825)政8 わ れる

年

中村座初演「東海道四谷怪談」は南北

舞台に描いています。 くした南北が、江戸の他の地域とは異 部分と重ねながら、 なる深川独特の風景を人間の心の闇 71歳での作です。当時の深川を知り尽 重要な場を深川を

特色といえます。展示を通して、 江戸文化と深川情緒をご覧ください。 伎の中に現代までも生き生きと息づく、 川で連綿とその技を伝えていることも で江戸時代から歌舞伎ゆかりの地です。 このように深川は、さまざまな要素 現在まで歌舞伎の簾や鬘の職人が深 歌舞

深川江戸資料館

問い合わせ 03-3630-8625

図版②:「俳優三十六花撰」天保6年(1835) 早稲田大学演劇博物館蔵 七代目團十郎の木場の自宅の様子

平成28年度芭蕉記念館後期企画展

一其角と江戸排

平成28年12月15日(木)~平成29年4月23日

其角は、伊達を好み、独自の俳諧を生きかく 芭蕉第一の門弟として知られる宝井 展示、紹介します。 えました。今回の後期企画展では、 角とその系譜を引く俳人たちの作品を 後の時代にも大きな影響を与 其

① 其角の肖像

型とされる其角の姿が、その生前から (1697) に出版された『陸奥鵆』世に多く描かれましたが、元禄10年 像画は、坊主頭で恰幅の良い、豪放 近江膳所藩の藩医・竹下東順の長男とまうみずずの産の藩医・竹下東順の長男と、其角は寛文元年(1661)7月、 磊落なイメージを抱かせるものが後 して、江戸に生まれました。其角の肖 によれば、 後世に描かれた肖像画の原

①穂積永機筆 其角肖像描かれていたことがわかります。

穂積永機による其角像です。元禄六年 1 6 9 3 明治前期に七世其角堂を継承した、 の6月、 其角が隅田川沿



けて詠んだ句が載せられています。 わって向島(墨田区)の三囲神社に向 いを遊覧中に、雨乞いをする農夫に代

(2) 其角の生涯と作品

であったといえるでしょう。 門した嵐雪と並ぶ、「芭蕉第一の門弟 めた芭蕉にとって、其角は同時期に入 れます。江戸で宗匠としての活動を始 (1674)、十四歳の頃であったとさ 其角が芭蕉に師事したのは延宝2年

立場をとっています。芭蕉は其角の句 を批判した際にも、これをたしなめる を認め、去来など他の門人たちが其角 其角の俳諧に対する方向性や表現能力 高く評価していたようです。 おいては同じ道を歩んでいると考え、 を、方向性は違えども、俳諧の本質に 大きくかけ離れていましたが、芭蕉は 達」を好み、「閑寂」を好む芭蕉とは 師の芭蕉によれば、其角の句は 一伊

独特の作風として高く評価される一方 没後、その作風は顕著になり、其角の 趣味の風俗詩とされます。特に芭蕉の 落風」であり、江戸の洗練された都会 後世の評価では、其角の句は 一元に

> 俳諧として、周囲から批判される原因 にもなりました。 で、芭蕉の作風とは対極にある低俗な

とっては、其角の洗練された句が「粋 を感じさせ、支持されたのかもしれま さまざまな逸話を残しています。後に を好むなど、豪放磊落な人柄で知られ、 「江戸っ子」と呼ばれる江戸の人々に 其角自身は豪商と交友し、酒と華美

せん。

未^みは (其角と親しい江

は、宗匠が ます。批点 たと思われ になってい 子状の懐紙 で、元は冊 込んだもの の批点を貼 の句と其角 の俳人

外廿句」は其各が点をつけなかったも つけたものが十六句という意味です。 たものが十三句、「屯十六」は長点を のが二十句、「雁十三」は雁点をつけ 和歌や俳諧に評価をつけたもので、「存

其角の後継者

(3)

没した後、其角が使った点印(俳諧の 宝永四年(1707) 2月に其角が

> として、大きな勢力を持っていました。 子規の俳句革新運動で批判される一方ぃ。 歴代の湖十が主宰する「其角座」へと から一世湖十へ引き継がれ、その後は 添削に使った印章) は門人の小川秋色 向島(墨田区)の三囲神社を拠点

③穂積永機筆「雲影を」句と雁図

六世其角堂鼠 ・ と ・ は ちました。明 肝の子で、父 える門人を持 ぎ、千人を越 から七世を継 1 8 2 3



治20年(1887)には門弟の田辺機 の嗣号代金をもとに、義仲寺で芭蕉の 一百回忌法要を営んでいます。 に其角堂を譲って老鼠堂と号し、 そ

職員による展示解説 する多くの資料を展示しています。ま ぜひご来館ください。 トーク)を行いますので、 た、2月26日(日)の午後一時から、 この他にも、其角とその後継者に関 (ミュージアム この機会に

【芭蕉記念館 問合せ】

区外史料調查報告

幕末明治の技術者 小野友五郎

どが主なものとして挙げられます。

特

に江東区に関わるものとしては、越中

業における測量・調査、

④製塩事業な

体制の計画立案、③明治政府の鉄道事 丸の航海長として貢献、②江戸湾防備

はじめに

年(1860) にアメリカへ派遣され 化に貢献しました。 め、維新後は技術者として日本の近代 た咸臨丸の筆頭測量方(航海長)を務 五郎もそうした人物の一人で、万延元 つかあります。本稿で紹介する小野友 た人物たちが足跡を残した場所がいく 中浜万次郎など、幕末明治期に活躍し 江東区には、佐久間象山・渋沢栄一・

史料調査では、 蔵する広島県立文書館で調査を行いま にあったことから、平成26年度の区外 (新大橋2) と海辺大工町 この小野友五郎の屋敷が御船蔵前町 小野友五郎家文書を所 (白河付近)

小野友五郎家文書の概要と調査対象

事・洋行関係文書、明治政府出仕期の かけての日記、 郎が晩年のライフワークとした製塩業 子孫に伝来した古文書群で、総点数 辞令類など多彩です。詳細は、広島県 に関する史料のほか、幕末から明治に 1043点を数えます。内容は、友五 小野友五郎家文書は、 幕府役人期の天文・軍 友五郎の

> 域について書かれていることが明らか 蔵前町」「海辺大工町」などと江東区 することはできませんでした。そこで 書の数は膨大で、これらすべてを調査 いました。 な古文書に対象を絞り込んで調査を行 本調査では、同目録を参考に、「御船 目録」が同館ホームページで公開され 立文書館発行の「小野友五郎家文書仮 このように同家文書に含まれる古文 いますのでそちらをご覧ください。

友五郎の業績

の著書に譲りますが、簡潔に述べます そのすべてを紹介することはできませ ん。詳しくは、後掲参考文献の藤井氏 小野友五郎の業績は多岐にわたり、 ①万延元年の遣米使節派遣に咸臨

えます。 友五郎の屋敷地 技術者として大きく寄与した人物とい 末から明治における日本の近代化に、 も知られているとはいえませんが、幕 す。友五郎の名は、一般的には必ずし もとに幕府は砲台の整備を行っていま の築造を発案しており、実際にこれ 島砲台(区登録史跡 「越中島砲台跡」

以下、番号〇〇と略) 友五郎家文書仮目録番号 566より、 宅は小名木川沿いにあった牧野家屋敷 立てられたため、当初、江戸の友五郎 臣で、咸臨丸の功績を機に幕臣に取り 〔北砂2付近〕内にありました(小野 友五郎は、元は笠間藩牧野家の家

の富山忠四郎から海辺大 567)。 さらに、 ています(番号 565 敷の調査・管理をする役 ており、 工町の屋敷地を譲渡され 八)への届書写が残され 、屋敷改 (武家屋

> と隣接する八右衛門新田(扇橋付近 にも屋敷地を所有していました。 によると、取得年代は不明ですが同地

に「町家作之町並屋敷」とあることかまた、海辺大工町の土地は、同史料また、海辺大工町の土地は、同史料 長屋を建てて借家経営を行っていた場 る長屋もあったのです。 は、こうした武士が地主として経営す 所だったことがうかがえます。深川に 友五郎が住むための屋敷ではなく、

勘定奉行並を務め、鳥羽・伏見の戦 別に芝金杉(港区)に拝領屋敷を所持はいますのである。 謹慎処分となったため、明治政府に召 ら屋敷地を拝領することができるの わかりません。しかし、旗本は幕府か これをいつ入手したのか詳しい時期は していたようです(番号363)が、 し上げられてしまいます。 にも関与したとして、維新直後に入牢・ (1861) 以降のことと思われます。 これらの所有地は、友五郎が幕府の なお、友五郎本人の居宅としては、 友五郎が旗本となった文久元年

維新後の元家臣

その後、慶応2年(1866)に幕臣

家族は苦しい生活を送ることになった ようです。しかし、その苦境を支えた (1870) まで続き、 は友五郎の元家臣でした。 友 五郎の謹慎処分は明治る その間、 彼

元家臣の大川錠之助は維新後、 友



敷手続書」(番号 363)

3 6 3 ° けて、 村名主のもとで暮らしていました。近年は東北の屋敷地があった八右衛門新田 返却の訴願運動を行っています に取り上げられた海辺大工町の屋敷地 するために、 之助は、 徳川家や東京府に対して、 友五郎の家族を経済的に救済 明治2年から同3年にか (番号 政府 田

その詳細については今後の検討が必要 き保たれていたことがうかがえます。 ですが、 地域社会との関係が、 からも、 ある八右衛門ら地域住人の名も加わっ 友五郎の元家臣を住まわせていること ています。罪人となって謹慎している この運動の願書には、 屋敷地を所有していた武士と 八右衛門新田の人々は、 維新後も引き続 村の代表者で 政府

> 族・家臣たちの支えになっていたと考 に罪人として扱われた友五郎とその家 えられます。

役人に任用し、 慎は解かれ、 のです。 す。こうして友五郎の名誉は回復した しかし、 明治3年4月、 政府は友五郎を民部省の然でまる。 鉄道事業にあたらせま

製塩事業の取扱所

挑み、枝条架法という欧式製塩法を取 塩場を設立しました。 り入れ、 事業です。彼は個人事業としてこれに 友五郎の維新後の業績の一つが製塩 や同国大堀村 上総国松ヶ島村 (同県君津市) (千葉県市原 に製

塩事業の事務取扱所として「新法製塩 そして、明治11年、 御船蔵前町に製

内限ない後しとのはゆはらぬかもうなはなななか

数をすりはいしゅのはるかったらと 在即国际以双方事了一至看省在任意的

たに二年大月

嘆願書の写(番号363、広島県立文書館蔵) とのようです。その入手時期は 年の地券状写(番号 360)が はっきりとしませんが、 するのは謹慎が解かれた後のこ 代には所有しておらず、 法試験場取扱所」を開設しまし 残されているため、この頃まで ことがわかります。 には友五郎の土地となっていた 御船蔵前町の土地は幕臣 明治 9 取得

他门之が實所所名地方力者を上左信へ以及禁事及斗司中がら

大川錠之助と八右衛門新田の八右衛門の名がみえる

一此後年に打八回川等成かりて出版科をなる 夏金粮品差多其少在日面发现不识面所以去上

上看了花彩春女 你门京 海也大五时町金属于

後いれる十七石之多人旧事一成多京山野内院先

議録・第14類・農業・全」請求 業規則書 (東京都公文書館蔵「回 友五郎の製塩事業は、 その 開

放在中下 一作春椒工都多樣也以人多

以此子二万件はず不安からい石名松丹を大き

うえ、 ○と略〉 番 とを特徴としていたようです。 力を用いず、燃料の削減を期待できる 従来の塩田製法に比べて、 の取扱所では経理や販売事務などを行 人材育成にも努めたようです。 号609. 各製塩場では、 実習生を受け入れ、 日照時間の影響も受けにくいこ 所収)によると、 В7 01 塩の製造だけでな 以 教育を施して 下、 新製法は火 御船蔵前 都 また、 i 公 〇

ませんが、

(番号

4 1 0

/2)には御船蔵前町の住所が 明治19年付の領収書 をいつまで所有していたのかはわかり 者表彰ノ義上申」)。御船蔵前町の す

(都公 622.

A5

10 所収「

実業

屋敷

Ļ

深川

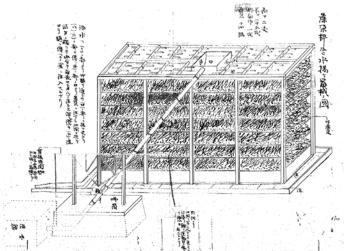
土

地を順次売却したようで

明記されているため、

手放すのはそれ

には販売所を日本橋 してしまいました。そして、 火が起こり、 しかし、 明治14年1月に深川 御船蔵前町の屋敷は全焼 (中央区) 明治17年 に移転 で大



大堀製塩場の製塩装置 (都公610.B7.04「回議録·第10類·伊豆七島·全」所収)

褒章(おわりに 与されています。 以降のことといえます にはその功績に対し、 発展に努め、亡くなる直前の明治31. の足場となったということを示して めに尽力するうえで、 枠組みを越えて、 が、彼が藩・幕府・明治政府という 直接的に描いたものではありません 五郎の技術者としての活躍の内容を ることができました。これらは、 沿革やその活動の一端をうかがい知 友五郎が深川に所持していた屋敷 友五郎は、その後も製塩法の いるのは間違いないでしょう。 小野友五郎家文書の調査により、 (実業家の功労者への表彰) 日本の近代化 政府から緑綬 深川の地 研 がそ のた 究と が 友 授

参考文献

の生涯 藤井哲博 1985 幕末明治のテクノ 『咸臨丸航海長小野 中央新書 クラー 友

(文化財専門員

斉藤照徳

した写真台紙は基本的に「深川北部

平成19年より活動を開始しており、 を除く月1回 在13名が在籍しています。近年は8月 プロジェクト」のメンバーの方々です。 したボランティアである「古写真整理 在住で文化財保護推進協力員を中心と 議室等を会場として、作業を進めてい に従事していただいているのは、区内 整理する活動をしています。この作業 もしくは提供していただいた古写真を 文化財係では、 (年11回)、 区民の方々から寄贈 区役所の会 現 しています。 海部」の5地区に分け、ファイリング 「深川南部」「城東北部」「城東南部」「臨

等で呼びかけたところ多くの写真が集 昭和の想い出、 40年代を中心とした「江東古写真展― 深川東京モダン館において、 古写真と並列で展示する現況写真の撮 しました。展示設営はもちろんのこと、 などもメンバーが担当しました(『下 主な活動以外には、平成24年1月に 説明文の執筆、展示会場での解説 平成の風景―」を開催 「江東古写真展を振 展示と同時期に 昭和30

筆などはメンバーが担当しました。 東のいまむかし―昭和の想い出、 り返って」を参照)。 町文化』No. 257 まりました。展示で掲出した写真を中 古写真の寄贈・提供を「こうとう区報 した。こちらも展示と同様、 心に、この時に集まった写真の一部を 今後とも活動は続きます。 平成25年3月には古写真集 現況写真の撮影、説明文の執 (有償販売中)を刊行しま 掲載写真

活動の様子

紙に貼り、 のを記入用

撮影場所や

複製したも

パソコンへ

真の原本を 容は、古写

作業の内

取り込み、

方向、

を分る範囲

ます。整理

で書き込み

古写真の寄贈・提供のお願い

写真でも屋外で撮影し背景にある程度 象としております。 街並みがわかるものであれば収集の対 都電など)を写したものですが、家族 ぐらいまでの古い写真を収集していま 文化財係では幕末から昭和50年代 収集の基本は街並み(建物や橋梁、

【問合せ先】

文化観光課文化財係

03 (3647) 9819

例

【写真の一

亀戸駅 (昭和30年代後半~40年代前半)



木場の材木問屋 (昭和34年)

江東のいまむか

成果写真集 『江東のいまむかし』

東京都 優秀技能者として表彰

氏が、平成28年11月に表彰され 木工 した。氏のますますのご活躍をお 区登録無形文化財(工芸技術 彫刻 (彫刻)」の保持者渡邉美憲 渡邉美憲氏(石島)



報

年10月2日にご逝去されました。 でご冥福をお祈り申し上げます 「石工」の保持者新川昇氏は、平成28 江東区指定無形文化財(工芸技術